

# スライドバーラック 取扱説明書



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保存してください。

**ムラテックKDS株式会社**  
MURATEC-KDS CORP.

SS課

# はじめに

---

この度は、スライドバーラックをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。  
この取扱説明書は、スライドバーラックの組立について説明しております。  
ご使用に際してはこの取扱説明書を必ずお読み頂き、正しく安全にご使用  
頂きます様御願い致します。

尚、この取扱説明書は、いつでも確認出来る様に大切に保管してください。

ムラテックKDS株式会社

SS課

# 目次

- 
1. 安全にお使いいただく為に
    - 必ずお読みください
    - 必ずお守りください
    - スライドバーラック各部の名称
  
  2. 組み立てる前に
    - 梱包及び部品の確認
    - 準備する工具
  
  3. 組立
    - 組立手順
  
  4. 組み立てた後に
    - 組み立てた後に
  
  5. アフターサービス
    - アフターサービスについて

# 1. 安全にお使いいただく為に

## ■ 必ずお読みください

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のシンボルマークをよく理解してから本文をお読みください。



遵守しないと人身事故が発生し、場合によっては死亡又は重傷を負う可能性があり、且つ危険発生時の警告の緊急性が高い場合。



遵守しないと人身事故が発生し、場合によっては死亡又は重傷を負う可能性がある場合。



遵守又は矯正しないと軽傷を負う可能性がある場合。又は製品自体に損傷を与える可能性がある場合。

## ■ 必ずお守りください

スライドバーラックを使用する前に以下の「危険」、「警告」、「注意」をよくお読み頂き理解し、遵守して頂きます様御願い致します。



- 『棚積載重量』を超えて荷物を載せないでください。  
ケガをしたりスライドバーラックが壊れる恐れがあります。
- 人がバーやアームに足をかけて乗らないで下さい。  
ケガをしたりスライドバーラックが壊れる恐れがあります。
- アームの引き出し操作は必ず一段ずつ行ってください。  
ケガをする恐れがあります。
- スライドアームを収納する時、荷物を載せた時は必ずストッパーで固定されていることを確認してください。  
ケガをする恐れがあります。
- 単体での使用時の転倒防止対策、地震対策などは、補強工事が必要です。お問合せください。

スライドバーラックの組立作業に当り、下記の項目について十分ご注意ください。

**組立作業は必ず2人以上で、十分な作業スペースを確保して安全に行ってください。**

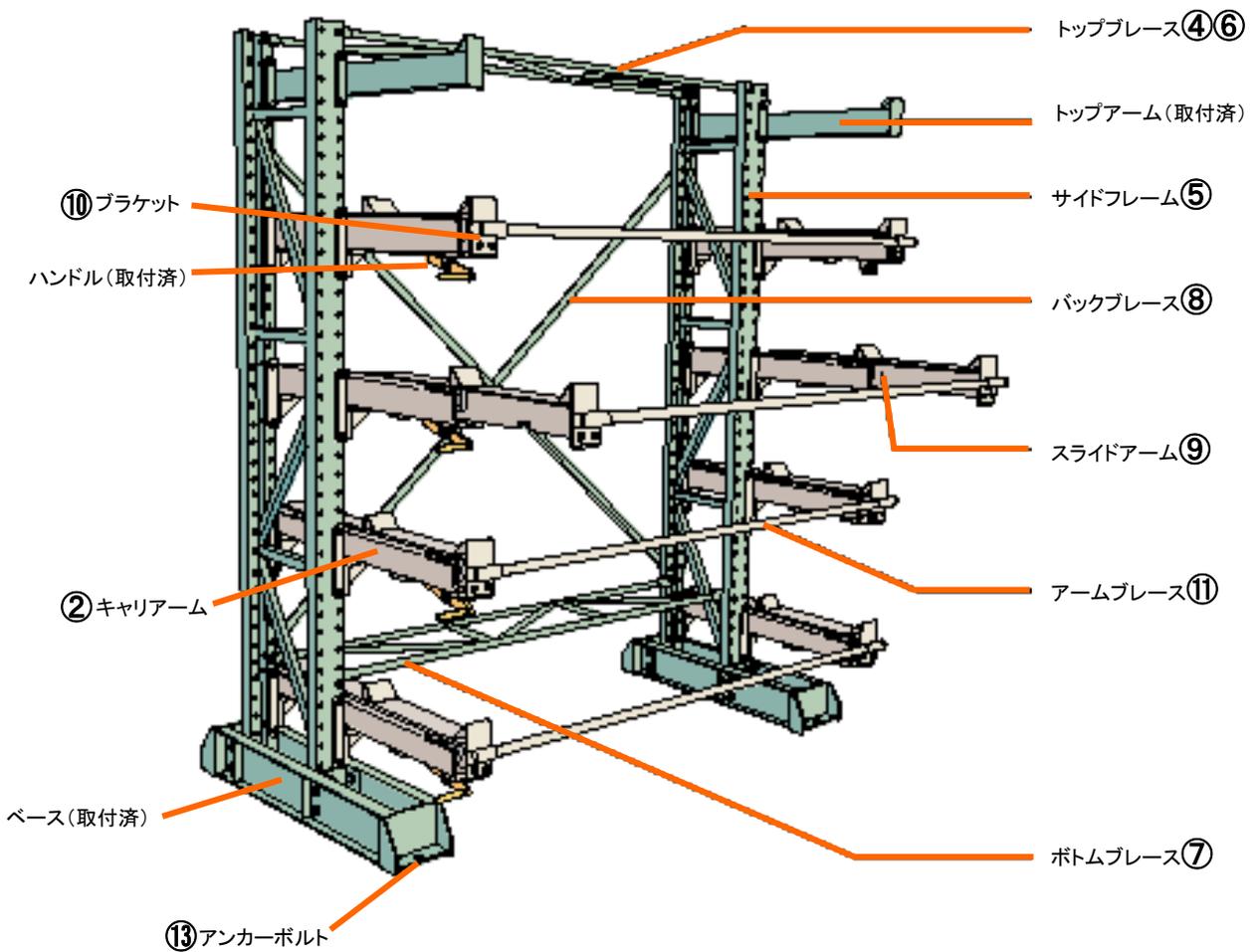


- 指などを挟まないでください。  
ケガをする恐れがあります。
- ハンマーなどを使用する際は、手をたたかない様ご注意ください。  
ケガをする恐れがあります。



- 支柱は必ずオールアンカー又はケミカルアンカーで固定してください。  
床コンクリート厚さ 150mm以上必要
- 転倒や不慮の力を考慮し、支柱は必ずアンカーボルトで固定してください。  
ケガをする恐れがあります。
- 固定作業に金槌などは使用しないでください。  
部品が変形したり壊れる恐れがあります。

## ■ スライドバーラック各部の名称



記載の番号は、組立手順の項の順序を表します。

## 2. 組み立てる前に

### ■ 梱包及び部品の確認

スライドバーラックは、枠組み関係部品とスライドアーム関係部品から構成されています。  
(両面タイプと片面タイプがございます。)

出荷時には、サイドフレームにトップアーム、キャリアアーム、ベースを取り付けております。

梱包は、ご注文台数によって荷姿や梱包の組み合わせ、梱包数が変わりますので、

開梱時に同封している梱包明細と部品点数をお確かめください。

### ■ 準備する工具

- 床コンクリート厚さ150mm以上であることを確認してください。
- 必ずアンカーボルトで固定してください。
- 十分な作業スペースを確保してください。
- 組立作業は必ず2人以上で行ってください。
- 下記の工具をご準備してください。

#### 組立に必要な工具

- ・ スパナ17(M10) スパナ13(M8) スパナ24(M16)
- ・ スナップリングプライヤ
- ・ ロータリーハンマー、ドリルΦ17、ドリル5Φ
- ・ スリングベルト
- ・ パール
- ・ ナイロンハンマー、ハンマー
- ・ チョーク、墨壺など設置位置を床に記すもの

## 3. 組立

### ■ 組立手順—大まかな順序

サイドフレームに次の部材を取り付けてお届け致しております。

- ・トップアーム
- ・キャリアアーム
- ・ベース

アームの位置を変更される場合は、一度取り外してご希望の位置に取り付けして頂きます様御願い致します。(組立手順に記載しております。)

### ● 組立の順序

- ① 設置場所の確認
  - ② キャリアアームの取り付け位置調整
  - ③ 本締め
- ◆ ここまではムラテックKDS側で作業

- ④ サイドフレームを立てる
- ⑤ トップブレースを取り付ける
- ⑥ ボトムブレースを取り付ける
- ⑦ バックブレースを取り付ける
- ⑧ スライドアームを取り付ける
- ⑨ ブラケットを取り付ける
- ⑩ アームブレースを取り付ける
- ⑪ 本締め・確認
- ⑫ アンカーボルト打設

## ■ 組立手順－1

### ① 設置場所の確認

設置床に設置位置の印を付けてください。

### ② キャリアアームの取り付け位置

既に取り付けてある位置を変更する場合は、一旦キャリアアームを取り外して、取り付け直してください。安定した作業台などにサイドフレームの載せ、必ず押さえながら作業を行ってください。



### ③ 本締め

ベース、トップアーム、キャリアアームの全てのボルトをしっかりと締めてください。

締め忘れの無いよう必ず確認してください。



**※各段位置が事前に把握出来ている場合は②③まではムラテックKDS側で組み付けた状態で出荷しています。**

### ④ サイドフレームを立てる

設置位置の印を目安にサイドフレームを立てます。

重量物ですので、天井クレーン、フォークリフト又は数人で安全に立ててください。



## ■ 組立手順－2

### ⑤ トップブレースを取り付ける

トップブレースの両側をサイドフレームに取り付けます。

両方のサイドフレームが転倒しないように必ず支えて行ってください。



### ⑥ ボトムブレースを取り付ける

両方のサイドフレームが転倒しないように必ず支えて行ってください。

危険ですので柱の内側に入って作業を行わないでください。



### ⑦ バックブレースを取り付ける

左右同じ高さに取り付けてください。



### ⑧ スライドアームを取り付ける

キャリアアームのすき間にスライドアームをはめ込みます。

スライドさせてみてスムーズに引き出せるか、ストッパーが掛かるか、必ず確認してください。



- 人がバーやアームに足をかけて乗らないでください。
- 柱内側に入って組立作業を行わないでください。

## ■ 組立手順－3

### ⑨ ブラケットを取り付ける

スライドアームの先端にブラケットを取り付けます。



### ⑩ アームブレースを取り付ける

ブラケットにアームブレースを差し込みます。

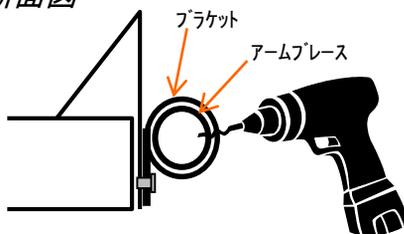
アームブレースのブラケットの穴と同じ位置に

Φ5mmの穴をドリルであけます。

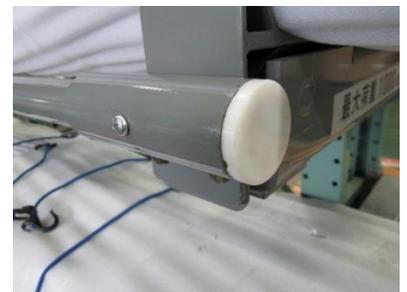
付属のドリルネジでアームブレースとブラケットを固定します。



断面図



ブラケットの穴と同じ位置に  
Φ5mmの穴をあける。



ブラケットの左右両端にキャップをはめ込みます。

## ■ 組立手順－4

### ⑪ 本締め・確認

アンカー打設前に、全てのボルトがきちんと締まっているか確認してください。

### ⑫ アンカーボルト打設

設置位置を確認してください。

オールアンカー(C16-120)はベースの穴をガイドにして、ロータリーハンマーでΦ17mm、深さ70mmの穴をあけた後、削りカスを掃除機で吸い取って下さい。その後ハンマーでアンカーを打ち込んでください。床との隙間は、付属のライナー(レベル調整板)を挿し込みで調整してください。



●ハンマーなどを使用する際は、手をたたかない様ご注意ください。



●支柱は必ずオールアンカー又はケミカルアンカーで固定してください。

床コンクリート厚さ 100mm以上必要

## 4. 組み立てた後に

### ■ 機構確認

組立が終了しましたら、下記の確認を行ってください。

- ① スライドアームがスムーズに動くか。※必ず一段ずつ行ってください。
- ② ハンドルレバーがきちんと作用するか。

**積載荷重1段当り1000kg(1アーム500kg)を必ず守ってご使用ください。**

今後、アーム取り付け位置を変更する場合は、必ず全ての荷物を下ろしてから行ってください。取り付け後も、上記の確認を必ず行ってください。

アーム段数を増やす場合は、各部材の耐荷重がございますので本社SS課或いは滋賀工場へ連絡し、確認を取ってから実施して頂きます様御願いたします。

## 5. アフターサービス

### ■ アフターサービスについて

- お気づきの点がございましたら、ムラテックKDS(株) 本社SS課にお問合せください。
- 基本部品並びにパーツ部品などのお問合せ、ご注文も本社SS課で承ります。

【ご注意】

- この取扱説明書が、関係する責任者に必ず渡るようにしてください。  
取扱説明書が常にこれらの方々の手元に無い場合は、その目的が果たされないこととなります。
- この取扱説明書は製品をご使用になる限り永久に保存して頂く様御願ひ致します。
- お客様が製品を独自に部品の追加、改造など弊社標準仕様から変更された場合は、責任を負いかねる事がございますのでご了承下さい。
- 設計変更、特別仕様の商品の場合、納入しました機種と説明書の内容が若干異なる場合がありますのでご了承下さい。
- この取扱説明書の著作権はあくまでムラテックKDS株式会社にあります。  
ムラテックKDS株式会社の書面による承認なしに本書の内容の一部又は全部を無断で転載、複製、複写することを禁じます。
- 本書に関してご不明な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がございましたら、最寄の下記営業所までご連絡ください。
- お問い合わせ先

〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町3

ムラテックKDS株式会社 SS課 TEL 075-662-7361 FAX 075-661-2764



**ムラテックKDS株式会社**  
MURATEC-KDS CORP.

|        |                                       |                                   |
|--------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 本社営業部  | 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町3               | TEL 075-276-5541 FAX 075-661-2764 |
| 新潟営業所  | 〒955-0046 新潟県三条市興野1-7-24              | TEL 0256-35-5481 FAX 0256-35-6317 |
| 東京営業所  | 〒135-0044 東京都江東区越中島1-2-13 TK門前仲町ビル10F | TEL 03-5620-1051 FAX 03-5620-1053 |
| 名古屋営業所 | 〒466-0023 名古屋市昭和区石仏町2-1-40 ユーハウス      | TEL 052-852-7621 FAX 052-852-7624 |
| 兵庫営業所  | 〒673-0404 兵庫県三木市大村261-3               | TEL 0794-83-3411 FAX 0794-82-5915 |
| 福岡営業所  | 〒811-1211 福岡県筑紫郡那珂川町今光5-14-1          | TEL 092-953-5781 FAX 092-953-5784 |
| 海外拠点   | マレーシア／アメリカ                            |                                   |

スライドバーラックの組立手順に関するお問合せは

〒525-0044 滋賀県草津市岡本町大谷1000-18

ムラテックKDS株式会社 滋賀工場 SS課

TEL 077-564-2381 FAX 077-564-6529